

生活リハビリテーションセンターだより

研修会報告

令和4年度 堺市高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

第3回研修会 「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加

～当事者・家族の声をあつめて～

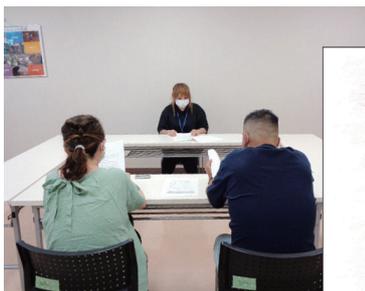
第3回研修会として「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加～当事者・家族の声をあつめて～」と題した動画を11月11日～17日の期間YouTubeで限定配信しました。動画は、当センターの訓練を利用された当事者様・ご家族にインタビューをさせていただき、受傷から社会復帰後の現在の生活まで、その時々のお話をいただきました。たくさんの方が快く動画作成にご協力くださり、お話を伺う中で改めて気づかされることが多くありました。できるだけ多くのリアルな声を皆様にお届けたく、編集のためにどこをカットするのか、非常に悩ましい作業となりました。

内容は大きく分けて5つ、「高次脳機能障害とは・高次脳機能障害と言われて」「家族関係・仕事復帰」「失語症とは・片麻痺のある生活」「若者VOICE」「伝えたいこと」で、それぞれ20～30分程度の動画を作成しました。

研修会には250名を超えるお申し込みがあり、600回以上の視聴回数となりました。視聴いただいた方から再配信を希望するお声を多数いただき、12月1日～8日に再度限定配信を行いました。

アンケートでは、インタビューにご協力いただいた当事者様・ご家族への感謝の言葉や、「改めて気づかされたことがたくさんあった」との支援者の感想、高次脳機能障害のことをあまり知らなかったという方から「生の声を聞いてよくわかった」といった声がありました。また、「事業所の職員全員で視聴しました」というお話しも複数いただきました。

「今、大変な思いをしている高次脳機能障害の当事者様・ご家族のお役に立つのであれば」とインタビューにご協力いただいた皆様に、この場をお借りして改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



第4回研修会「脳卒中後のイライラ、こだわりはなぜ起こる？」 ～その原因と明日から使える対応方法～

第4回研修会「脳卒中後のイライラ、こだわりはなぜ起こる？～その原因と明日から使える対応方法～」を2月15日（水）に開催しました。会場・オンライン合わせて90名を超えるお申し込みがあり、関心の高さがうかがえました。当日は、脳卒中後に感情コントロールの障害が起こる原因やその対処法について、動画を交えながら当センター臨床心理士の岩崎が解説しました。

参加者のアンケートでは、「こだわりと捉えずに気持ちの揺れや動きに目を向けることの大切さを学べた」「（イライラやこだわりの）背景に何があるのかを考え、事前に把握して対策を考えていきたい」といった感想がありました。次年度も支援のヒントとなるような研修会の開催をしていけるように努めてまいります。



新春交流会

利用者様と訓練を卒業された方の交流の場として、毎年恒例となっている「新春交流会」を1月20日（金）に開催しました。

午前中は、11月に動画配信をした「高次脳機能障害者の社会復帰・社会参加 ～当事者・家族の声をあつめて～」の上映会をおこないました。

第1部 交流会

午後の第1部では、当事者様とご家族に分かれ、卒業生と利用中の方を交えて交流会を行いました。当事者交流会では、最近の様子やこれからしたいことを話していただき、家族懇談会ではこれまでの経過、最近の様子、今後の職場復帰、社会参加に向けてのご家族の思いなど様々な内容をお話いただき、ご家族同士で共感されたり、先輩ご家族からのアドバイスを熱心にきいておられたり、話が尽きませんでした。



第2部 ボッチャ大会

午後の第2部では、当事者様とご家族の混合チームを編成しボッチャ大会を行いました。どの位置にジャックボールを置くのか、どうすれば高得点を得られるのかチーム内で作戦を練りながら白熱した戦いが繰り広げられました。当事者様とご家族との垣根を越え、スポーツを通じて交流ができたこと、普段、顔を合わせていてもなかなか話をする機会がなかった利用者様同士もこの交流をきっかけに互いに話をするが増えていくと良いと感じました。



今後も交流の場がもてるような機会を提供していきたいと思っております。

sakai ARTcation 2022 奨励賞受賞

10月27日～30日に健康福祉プラザで開催された、sakai ARTcation 2022に当センターの訓練プログラム「クラフト」に参加されている皆様で、コットンボールを使用した造形物『コットンキャンディー』を作成・出品し、奨励賞を受賞しました。

「クラフト」のプログラムでは、健康福祉プラザ内のクラフトルームを使用し、革細工や陶芸、書道、絵画などに取り組み、創作活動を通じて興味・関心を広げていただいたり、作業適性を見極めをすることも目的としています。今回の受賞は訓練に取り組みされている皆様の励みになりました。

また、水曜日の月替わりプログラムでも、アートチームを結成し、『堺おでかけマップ』を出品しました。こちらは惜しくも受賞とはなりませんでしたが、皆様がアイデアを出し合い、協力しながら作品を作成し、和気あいあいと楽しそうに取り組まれている姿が印象的でした。



第2回学習懇談会

「失語症交流会・Net119緊急通報システム登録説明会」

第2回学習懇談会「失語症交流会・Net119緊急通報システム登録説明会」を11月20日に実施しました。Net119緊急通報システムは、音声による119番通報が困難な聴覚・言語などに障害のある方が、スマートフォンなどを用いて円滑に消防署への通報を行えるようにするシステムです。

当日は堺市消防局からシステムの使用法や活用についての説明をいただいた後、登録会を行いました。学習懇談会には32名の方が参加され、当事者17名のうち12名の方が登録されました。今後も堺市消防局と

の連携を行いながら、必要に応じて登録の支援をしていきます。ご希望の方はいつでもお声がけください。



訓練プログラムのご紹介

～パン作り～

12月の水曜午後の月替わりプログラムはパン作りを実施しました。利用者様同士の交流を深めることを目的に4回実施し、あんぱん、メロンパン、高級食パン生地のロールパン、カップケーキを作りました。

パン作りが得意な利用者様主体で行い、午前中からパン生地の仕込みもしていただきました。ほとんどの利用者様はパン作り自体が初めてのため、四苦八苦しながらも和気あいあいと楽しく作業されていました。「あん



が上手く包めないけど、どうしたらいいの?」「ロールパンのかたち作るのうまいやん!」など、自然と交流をもたれていま

した。また、出来上がったパンはその場で召し上がっていただき、焼き立てパンは「美味しい!」と大好評でした。ご自身でパンを作った達成感に加え、利用者様同士で交流を持ちながら楽しく作業ができ、よい機会となりました。



～ヨガ～

1月と2月の水曜午後の月替わりプログラムはヨガを実施しました。ヨガという体が柔らかい人がやるものだというイメージがあるかもしれませんが、ここでは、難しいポーズをとることよりも、リラックスして筋肉の緊張をやわらげることを大切にしました。自分の体の特性を知り、日々のセルフケアの質を高めることがこのプログラムの目的です。「ここがよく伸びているなあ」や



「こっちが硬いなあ」など、自分の体の状態をあらためてじっくり感じる良い機会になりました。プログラムは終始なごやかな雰囲気で行われ、「気持ち良かった」、「体が軽くなった」などのお声をいただきました。外は寒い時期でしたが、ヨガをすると体がポカポカと温かくなり、心身ともにリラックスできるひとときとなりました。



堺市立健康福祉プラザ 生活リハビリテーションセンター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内 4F

TEL.072-275-5019 FAX.072-243-0202

■開館時間 9:00～17:30 ■休館日 土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

<http://www.sakai-kfp.info/>

バックナンバーはこちらから⇒

